

# 令和5年度大分県障がい者優先調達推進方針

## 1. 令和5年度調達方針

### (1)適用範囲

実行委員会等(県庁内に事務局があり県の予算を財源とするもの)を含む県のすべての機関

<参考> 行政企画課が把握している「団体業務に県職員が携わる団体」180団体

### (2)調達目標

77,000千円 (R4年度調達目標額と同額)

<参考>

R4年度調達目標と同様の算定方法によると、75,000千円となるが、R4年度調達目標額と同額を目指す。

### [参考] 令和4年度調達方針

### (1)適用範囲

実行委員会等(県庁内に事務局があり県の予算を財源とするもの)を含む県のすべての機関

<参考> 行政企画課が把握している「団体業務に県職員が携わる団体」180団体

### (2)調達目標

R3実績額(当該年度に限った契約分を含めない)に10%を加算した額 (77,000千円)

(目標額・実績額の推移)

(単位:千円)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
目標額	46,526	45,702	50,860	55,000	72,000	75,000	77,000	77,000
実績額	47,391	47,057	66,872	82,742	74,198	78,744	75,584	

## 2. 発注拡大に向けたポイント等

### < 部局内各所属に優先調達の周知徹底 >

人事異動に伴う名刺印刷、10万円未満の印刷発注などは必ず障がい者施設へ発注

各種計画の印刷物発注における点字版の作成推進

(過去発注事例:「大分県障がい(児)福祉計画(障害福祉課)」、「安心・活力・発展プラン」(政策企画課)、「大分県人口ビジョン・第2期大分県まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」(おおいた創生推進課))

データ入力やチラシ作成等の事業において、100万円以下の随意契約の場合であって、障がい者が従事できるものであれば、見積先に障がい者施設を加え、受注の機会を増やすことを検討

講演会、研修会、セミナー等での手話通訳者及び要約筆記者の配置を推進

啓発等の動画を作成する際の手話通訳の挿入

・イベント等を開催する際の、周知チラシの印刷のほか記念品の発注(障害者社会参加推進室もしくは共同受注センターに相談を)

・民間企業の発注から福祉施設への発注に切り替えの検討

(切り替えた事例: 企業局の除草業務 873万円(R1~)、会計管理局の封筒印刷 479万円(H29~))

・各種実行委員会等での物品・役務の積極的な発注